

# 彙報

## 平成二十年度 研究所所員研究業績

乾 仁志

○講演録

「マンガラが語るもの」『平成二十年度高野山教師布教研修会講演録  
マンガラとその命にかえる』高野山本山布教師会 二〇〇九年三月  
一四—六三頁

中村 本然

○論文

『選択本願念仏集』に説かれる五逆重罪について—特に真言教学と  
の比較を中心として—『印度学仏教学研究』第五七巻第一号 二〇  
〇八年二月 一二九—一三六頁

藤田 光寛

○口頭発表

「インド・チベット仏教における大乘の瑜伽戒について」日本佛教学  
会（叡山学院）二〇〇八年九月

○講演

「密教とはなにか」高野山の年中行事 高野町・高野町教育委員会・  
高野山大学共催「高野山学」（高野大学）二〇〇八年四月・七月

「密教とはなにか」高野山大学夏季セミナー 二〇〇八年八月  
室寺 義仁

○論文

『阿毘達磨俱舍論』における *‘sarvajñā’* 『印度学仏教学研究』第五  
七巻第二号 二〇〇九年三月 二一八—二二六頁

○講演

「いのちとところ—無常な身体に、直き柔らかな心を—」畿央大学  
健康科学部（理学療法学科・看護医療学科）新入生課外研修における  
講演（高野山大学）二〇〇八年四月

「空のおしえ—諸行無常であることを諦観し、戯論から離れて一切皆  
苦を乗り越える思念—」高野山大学夏季セミナー 二〇〇八年八月

## 平成二十一年度 密教文化研究所だより

定例の合同研究会（課題「弘法大師の思想とその展開に関する研究」、  
「密教の形成と流伝に関する研究」、「密教と現代社会の諸問題に関する  
研究」）は、今年度七回開催された（詳細は高野山大学HPに掲載）。

第1回 6月29日（月） 奥山直司「チベット仏教圏形成の力学」

第2回 7月27日（月） 斎藤明「仏教用語と現代—『日英基準訳語集』

『主要用例集』の構築に向けて」

第3回 10月19日（月） 岩崎日出男「密教と道教の関係について—従

来説の批判を中心に—」

第4回 11月9日（月） 大塚伸夫「『檀特羅麻油述経』に見る初期密

教の特徴について

- 第5回 12月7日(月) 佐藤隆彦「性相本有説について」
- 第6回 1月25日(月) 藤井淳『空海の思想的展開の研究』拾遺」
- 第7回 2月15日(月) 辻村優英「グライラマが語る仏教用語の英語表現について」
- 船山徹「漢訳語「戒」「律」「戒律」について  
—菩薩戒関係テキストとの関連で—」

平成二十一年度は密教文化研究所受託研究員として、十六名、ペテロ・パーケルマンズ (Peter Baekelmans)、ベルギー、オリエンズ宗教研究所)、パオラ・デイ・フェリーチェ (Paola Di Falice、イタリア)、大森弘(近畿大学名誉教授)、川崎一洋(高野山大学講師)、サンニャ・ユルコヴィッチ・シュミット (Sanja Jurkovic-Schmidt)、中谷征充、波多野智人、平賀由美子、淵田雲溪、前田禮子(以上六名、高野山大学院博士後期課程単位取得退学)、上野康弘、大観慈聖、辻村優英(以上三名、京都大学大学院博士後期課程単位取得退学)、大柴清圓(中国、中山大学中国語言文学系古文字学博士課程学位取得)、石井榮一(高野山大学院修士課程(通信)修了)、スワンソン・エリック・春希 (Swanson Eric Haruki、高野山大学院修士課程修了) 各氏を受け入れたい。

高野山大学では密教文化研究所初代所長中野義照博士の業績を顕彰するため、平成十二年から「中野義照博士奨学金」を設けている。平成二十一年度は二件の申請があったが、第2回密教文化研究所協議会において選考の結果、採択者なしと決定した。

密教文化研究所構成員名簿 (平成二十二年二月現在)

所長	藤田 光寛 (文学部教授)
専従研究員	奥山 直司 (文学部教授)
〃	佐藤 隆彦 (文学部准教授)
兼任研究員	乾 仁志 (文学部教授)
〃	井上ウイマラ (文学部准教授)
〃	加納 和雄 (文学部助教)
〃	中村 本然 (文学部教授)
〃	南 昌宏 (文学部准教授)
〃	室寺 義仁 (文学部教授)
〃	山口 幸照 (文学部准教授)
委託研究員	安藤 和雄 (京都大学准教授)
〃	岩崎日出男 (園田学園女子大学教授)
〃	大塚 伸夫 (大正大学准教授)
〃	斎藤 明 (東京大学大学院教授)
〃	静 春樹 (高野山大学講師)
〃	外川 昌彦 (広島大学大学院准教授)
〃	藤井 淳 (密教文化研究所委託研究員)
〃	船山 徹 (京都大学准教授)
〃	トーマス・ドライトライン (高野山大学講師)
顧問	松長 有慶 (名誉教授)
事務室長	田寺 則彦

『密教文化研究所紀要』編集委員会規程

第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、「密教文化研究所紀要」（以下「紀要」という。）編集委員会（以下「編集委員会」という。）を設ける。

第2条 編集委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 研究所長
- (2) 専従研究所員
- (3) 「紀要」編集担当者

2 編集委員長は研究所長がこれに当たる。研究所事務室長は、幹事として編集委員会の事務を処理する。

第3条 編集委員会は研究所長が招集し、その議長となる。議長に事故ある時は、互選によって議長を選出する。

第4条 編集委員会は、次の事項を審議し、研究所協議会に報告する。

- (1) 「紀要」に寄稿された原稿の掲載の可否および掲載の時期の決定。
- (2) 「紀要」寄稿者への補筆および補正の要請。

第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。

第6条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。

附則

- 1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。
- 1 この規程は、平成一四年五月二二日から施行する。

『密教文化研究所紀要』寄稿規程

第1条 「密教文化研究所紀要」（以下「紀要」という。）は、日本およびアジア地域などにおける密教の思想と文化に関する研究論文、研究ノート、研究資料、書評などを掲載発表することにより、密教文化の研究の発展に寄与することを目的とする。

第2条 「紀要」に寄稿することができる者は、次のとおりとする。

- (1) 研究所長
- (2) 研究所員
- (3) 研究員
- (4) 編集委員会が適当と認める者

第3条 原稿は、原則として四百字詰原稿用紙七十枚以内とする。

第4条 原稿は完全原稿とする。執筆者校正は再校までとし、校正時の大幅な改変・追加等は認めない。

第5条 寄稿された原稿は、査読委員会の査読を経て、編集委員会が掲載の可否および掲載の時期を決定する。また、編集委員会は、寄稿者に補筆および修正を求めることができる。

第6条 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行なわない。

第7条 寄稿者には、掲載誌二部および抜刷三十部を贈呈し、その経費は研究所が負担する。

附則

- 1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。

執筆者紹介（掲載順）

中村 本然 密教文化研究所兼任研究所員

（高野山大学教授）

大塚 伸夫 密教文化研究所委託研究員

（大正大学准教授）

大観 慈聖 密教文化研究所委託研究員

（京都大学大学院博士後期課程単位取得退学）

加納 和雄 密教文化研究所兼任研究所員

（高野山大学助教）

静 春樹 密教文化研究所委託研究員

（高野山大学講師）

川崎 一洋 密教文化研究所委託研究員

（高野山大学講師）

編集後記

『高野山大学密教文化研究所紀要』第二十三号には、中村本然、大塚伸夫、大観慈聖、加納和雄、静春樹、川崎一洋各先生の論文を掲載した。

昨年度の第4回研究会において苦米地等流博士によって紹介された『理趣経（百五十頌般若経）』の新出サンズクリット写本の校訂本が上梓された。また高野山大学が取り組んでいる「伝統教  
学復興プロジェクト」の一環として企画立案されていた『真言宗  
古字書資料集』が出版された。『理趣経』、及び伝統教の研究の  
進展が期待される。（38頁新刊案内参照）

弘法大師の『御請来目録』にその名が記載されていないが、永らく内容・所在が不明であった『三教不斉論』の写本が密教文化研究所藤井淳委託研究員によって発見されたというニュースは、社会的にも注目を集め、毎日・朝日・読売三大紙をはじめとして各方面において報道された。その後、密教文化研究所聖教調査の目録を精査したところ、伝教大師請来の『三教不斉論』（明応六年写・一軸）が石山寺に所蔵されていることが判明し、さらに大きな反響を呼んだ。調査・研究報告、及び翻刻については、次号の紀要に掲載を予定している。

（田寺記）

高野山大学密教文化研究所紀要 第二十三号

平成二十二年二月二十一日 印刷

平成二十二年二月二十五日 発行

編集者 密教文化研究所

代表者 藤田光寛

発行所 密教文化研究所

和歌山県伊都郡高野山高野山大学

電話(0735) 513305 〓 696-0260

印刷所 第一印刷出版株式会社

大阪市福島区福島七-131-1

電話(06) 6456-6756 〓 557-0003

## 真言宗古字書資料集

収録典籍 『二十五卷章四声印点引抛』  
『十住心論用音』  
『大日經金剛頂經讀曲』  
『四声愚朦抄』  
『声秘録／本初打集講読異義』他

影印版 (B5版・カラー印刷・総596頁) 定価26,250円 (税込)

CD-ROM 版 定価15,750円 (税込)

編集 高野山大学密教文化研究所

発行所 小林写真工業株式会社

TEL 06-6773-3161 FAX 06-6771-4718

E-mail info@ksk-jp.com URL <http://www.ksk-jp.com/>

## Adhyardhaśatikā Prajñāpāramitā Sanskrit and Tibetan Texts

Critically edited  
by  
Toru Tomabechi

(=Sanskrit Texts from the Tibetan Autonomous Region  
founded and edited in chief by Lhagpa Phuntshogs and  
Ernst Steinkellner No.5)

ISBN 978-3-7001-6653-5

CHINA TIBETOLOGY PUBLISHING HOUSE  
AUSTRIAN ACADEMY OF SCIENCES PRESS  
BEIJING – VIENNA 2009